

10月13日(火)3限『文学b』

特別授業テーマ 『漱石と英国絵画』

特別授業講師

ロンドン漱石記念館 館長
恒松郁生氏

恒松氏プロフィール

鹿児島出身。大学卒業後、1974年から在英。海外でホテルマン旅行代理店のオーナー等を経て、1984年、夏目漱石や明治期に活躍した日本人の資料を展示する目的で、私設のロンドン漱石記念館を漱石縁のロンドン、クラパムに開館。

2004年から熊本の崇城大学で教鞭をとり、崇城大学図書館長、副学長を経て崇城大学名誉教授。

2016年にクラパムの記念館を閉館したが、2019年にサリー州の自宅を改装して研究者向けに再開館。

漱石とその周辺の人々の調査英訳等に尽力。「硝子戸の中」「永日小品」「私の個人主義」「満韓ところどころ」「趣味の遺伝」「二百十日」などの漱石作品を英訳し、英米で出版。